



～外国の方から学んだ「頑張れ！」の意味～

校長 名取 秀康

令和8年が明けて早いもので1ヶ月が過ぎました。今年は午年(うまどし)、前進や飛躍の年とされています。そんな年にふさわしく、稲付中学校の生徒は前向きに生活しています。1月17日(土)に行われた学習展示会ではたくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただきありがとうございました。どれも個性豊かな作品ばかりでした。作品を見ながらそれぞれの生徒の顔を思い浮かべていると良い意味で意外な一面を見ることができて嬉しくなりました。保護者の皆様、地域の皆様も作品を通してそれぞれの生徒の創意工夫やこだわり、また、日頃の学習に対する取り組む姿勢を感じていただけたのではないのでしょうか。

さて、今回の学校だよりでは「頑張る！」について書きたいと思います。先日、何気なくあるテレビ番組を観ていました。有名なお笑いタレントが司会をし、様々な国の方々が集まってのトーク番組でした。番組の中で司会者が「次に日本のいいところについて聞かせてください」と出演者に投げかけました。すると、ある出演者(どの国の方かは忘れてしまいました)が、「私の国にはない素敵な言葉が日本にはあるんです。なんだと思いますか？」と発言しました。私は瞬間的に東京オリンピックで流行した「お・も・て・な・し」という言葉が頭に浮かびました。皆さんはいかがでしょう。その出演者の言う素敵な言葉とは「頑張る」でした。「私の国には「一生懸命」という言葉はあっても「頑張る」という言葉はありません。私はこの「頑張る」の言葉には夢とか希望とかその先にある幸せが待っているという意味が込められていると思うのです」と話していました。日本人である私は思わず「なるほど！」と声を出してしまいました。まさに目からうろこです。ちなみにAIで「頑張れ」を調べてみると「困難に屈せず物事を成し遂げるようとする相手を励ます呼びかけ」とありました。こちらも「まあ、なるほど」ですね。

私も今まで様々な場面で、そして、いろんな人たちに「頑張れ！」という言葉をかけてきました。きっと、私が使っていた「頑張れ」はどちらかというと叱咤激励の「頑張れ」だったり、努力を強要するような「頑張れ」だったような気がします。同じ言葉を使うにしてもどんな気持ちがかもっているのかで相手への伝わり方も違ってくるでしょう。稲付中学校の「頑張れ！」は相手のその先にある幸せ(笑顔)を願っての「頑張れ！」でありたいと思います。きっと、「頑張れ！」と言っている人の顔も、伝えられた人の顔も笑顔になるんだろうなあと思います。いつでも笑顔あふれる稲付中学校でありたいです。

<2月主な行事>

2	月	全校朝礼 2年領域診断テスト	17	火	5組3年生を送る会 自習教室
4	水	北区教育研究会②カット 定時退勤日	18	水	職員会議
6	金	北区教育研究会⑤⑥カット	20	金	1・2年定期考査Ⅳ
9	月	生徒会朝礼 新時間割始	21	土	都立高校第一次学力考査
10	火	職員会議	24	火	全学年定期考査Ⅳ
12	木	SHSホストフレンド来校	25	水	全学年定期考査Ⅳ
14	土	土曜授業 PTA実行委員会 学校評議員会	26	木	定期考査採点日 ESAT-J YEAR1・YEAR2
16	月	学年朝礼 自習教室	27	金	2年校外学習